

運輸部

竹富町立波照間小中学校における バリアフリー教室の開催

POINT

平成23年10月14日(金)、竹富町立波照間小中学校の小学生12名と中学生10名の合計22名を対象に、バリアフリー教室を開催しました。



座学の様子



沖縄総合事務局では、高齢者、視覚障がい者、身体障がい者の疑似体験や介助体験等を通じてバリアフリーについての理解を深めてもらうとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、誰もが高齢者、視覚障がい者等に対し「お手伝いしましょう」とごく自然に声をかけてサポートできる「心のバリアフリー」を目指し、平成13年度以降バリアフリー教室を開催しています。

今回は、NPO法人バリアフリーネットワーク会議を講師に招き、竹富町立波照間小中学校の小学校3年生から6年生の12名と、中学校1年生から3年生の10名の合計22名を対象に同校体育館において開催しました。当日は、波照間小中学校教員、竹富町教育委員会、竹富町社



高齢者疑似体験



会福祉協議会からも多数の方々が参加され、当教室に協力していただきました。

体験学習終了後、児童・生徒からは「車いすやいろんな障がいを持つ



車いす体験

ている人は大変だなと思いましたが、「介助する時は、相手が自分の思ったとおりに動かないので、説明するのが難しかった。」「身の回りに障がいを持った人がいたら、声をかけてあげたい。」など疑似体験で学んだ感想を話していました。

沖縄総合事務局としては、今後も「バリアフリー教室」の開催を通じて、より多くの皆様にバリアフリー化社会の実現についての理解を深めていただくとともに、「心のバリアフリー」を積極的に推進していきたいと思えます。



アイマスク体験

